

# 重要文化財「吉村家住宅」

11月3日（文化の日）・4日（日）に特別公開！

重要文化財「吉村家住宅」（島泉5丁目・近鉄南大阪線高鷲駅から北へ徒歩15分）の秋季特別公開は、11月3日（祝）・11月4日（日）の2日間開催されます。開催時間は、午前の部が10:00～12:00、午後の部が13:00～15:00まで、見学料は500円です。（小学生以下は保護者同伴・中学生以下は無料）今回も予約制で実施されますので、ご希望の方は社会教育課歴史文化推進室担当へ電話（072-947-3904 直通）またはFAX（072-956-7196）にてお申し込みください。

吉村家は、鎌倉幕府を開いた源頼朝の近くにあつて功を重ねた武将・佐々木高綱の子孫で、鎌倉時代初期に島泉付近に移り住んだと伝えられ、江戸中期には、現在の羽曳野市、松原市、八尾市などのあった18カ村の大庄屋を務めていました。住宅は、元和元年（1615）大坂夏の陣の直後に建築されたとみられ、桃山時代の書院造りの建築様式を一部に留める代表的な上層農家の遺構です。



5,280㎡（約1,600坪）の敷地には、主屋、長屋門や土蔵などが、昔日のおもかげをとどめて並んでいます。当日、主屋では、つり部屋やカマドがある土間、主人とその家族が住んだ居室、古風な輿寄せの玄関、書院造りの座敷、意匠を凝らした明障子や欄間の透かし彫り、長押の釘隠し金具、

襖の引き手などがある客室部などが見学できます。また、納屋内部を改装し新たに展示施設を設けましたので、ぜひお出かけください。

今回は御所市在住の陶芸家、東川和正氏の陶芸作品の展示を予定しています。

【10:30頃と13:30頃に吉村さん（ご当主）の説明を予定しています。】

問合せ 歴史文化推進室担当 ☎ 958-1111 内線 4482

# 畑田家住宅（国登録有形文化財）を一般公開！

同時開催：衣育フォーラム「ヒトはなぜ服を着るのか？」

主催：畑田家住宅活用保存会 後援：羽曳野市・羽曳野市教育委員会 協賛：大阪大学総合学術博物館

## 【一般公開】

畑田家住宅は羽曳野市郡戸の旧家で、田の字型の主屋や長屋門とそれに続く2棟の蔵や納屋などは明治時代の屋敷構えの趣きをよく残しています。この貴重な文化財を一般に公開しますので、奮ってご参加ください。

## 【衣育フォーラム】

「ヒトはなぜ服を着るのか？」

講師：大阪大学文学研究科教授 武田 佐知子 氏

ヒトがヒトとして生き始めた時からまとっていた、ヒトとしての衣服。そのかたちは、無数にあるようであり、人間の体を覆うという性格上、きわめて似ています。

下半身は、二本の足を一緒に包むスカートか、一本ずつ包むズボンかの、どちらかです。ジャンヌ・ダルクはズボンをはいたことで処刑されました。大阪大学には日本で登校して授業を受けさせてもらえなかった女子学生がいました。

何を着るかは、毎日の何気ない行為でありながら、きわめて重要な意味を持っています。そんな服を着る意味を考えてみましょう。



※一般公開は10:30～12:00まで。フォーラムは13:30～16:30までで、定員は先着40人。

## 【申込】

参加をご希望の方は 往復はがきに「一般公開」、「衣育フォーラム」（両方可）。住所・氏名・年齢・参加人数を明記の上、〒583-8585（住所不要）羽曳野市教育委員会歴史文化推進室まで。折り返し、整理券を返信します。

【問合せ】畑田家住宅活用保存会

☎ 0727-62-7495 当主 畑田 耕一

11/18(日)